



月刊労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

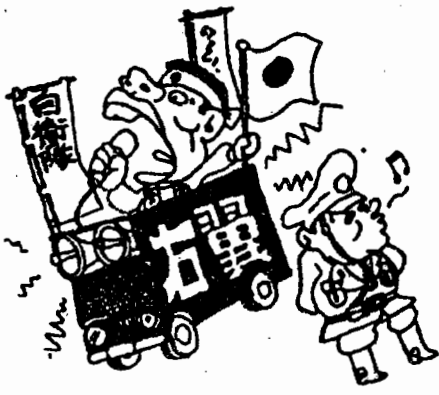
〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.7.26 No. 3435

社会科は「右向け右」

東郷元帥、日の丸、君が代 全教科書に



自主規制に危ぐも

政府・自民党は、本腰を入れて「教育」の全面的改悪にのりだした。
その特徴は、一口で言って戦争教育の復活。軍国少年・少女づくりにある。
子供らが熱心に教育をうけければうけるほど、軍国少年・少女に変えられていく。こんなことが許されていいはずはない。
六月三十日、文部省が公表した「検定結果」は、実に、社会科の全教科書にわたり、日の丸・君が代



代を国旗・国歌とし、東郷平八郎を戦後初めて登場させるなど、自衛隊派兵やPKO参加、小選挙区制攻撃に呼応してのりだしてきている。
ちなみに、この検定制度の改悪は四〇年ぶりである。
教育問題は、学校だけ、教育労働者だけの問題でないことは言うまでもない。
われわれは、苦闘する教育労働者と連帯し、日の丸・君が代、天皇制教育をうちくदैいていかなければならない。

検定前

(これすらも内容的には大問題!)

—日の丸・君が代—

日本の国旗を定めた法律はありませんが、明治時代から、日本のしるしとして使われてきました。

日本の国歌を定めた法律はありませんが、明治時代から、儀式のときに歌われてきました。

—天皇—

おもな(主な)しごと・「図で…」

—南京大虐殺—

女子や子供をふくむ、7万人以上といわれる市民を市の内外で殺害しました。

—日露戦争—

日露戦争について、国内では、戦争に賛成と反対という二つの考えが出されました。しかし、戦場にはつきつきに兵士が送られていきました。

女子や子供をふくむ、非常に多くの中国の人々を市の内外で殺害しました。

▲アジア侵略の歴史と大虐殺の事実を消し去り、再びアジアに乗り出すというのである。

日露戦争について、国内では戦争に反対する意見よりも賛成する意見が強く、戦場にはつきつきに兵士が送られていきました。

▲侵略戦争の賛美。そこでは、「戦争勝利が、日本の国際的地位を高めた」とまで明記されているのである。



検定後

明治時代から、慣習的に国旗として使われてきました。
明治時代から、慣習的に国歌として、儀式のときに歌われてきました。

▲「日の丸・君が代」攻撃の全面的強化を明確にしている。卒業式・入学式での「日の丸・君が代」の義務化攻撃について、社会科全教科書に「日の丸=国旗」「君が代=国歌」と明記されるというのだ。

写真で「大相撲を観戦する天皇」を追加掲載。

▲天皇賛美の強化である。
新指導要領では、「天皇についての理解と敬愛の念を深める」としているのである。

こうした教科書検定にたいして、アジア諸国、特に南朝鮮・韓国の各紙は、「軍国主義登場」等々、厳しく弾劾している。

教科書が国粹主義一色に

—韓国 韓国日報7月2日
日本の小学校の教科書が軍国主義から国粹主義、民族主義一色に変わる。4年生、5年生の社会科教科書には、「日の丸」と「君が代」が載る。また8年生の教科書には、軍国主義時代、軍神と仰がれた日露戦争の英雄・東郷平八郎が賛揚し、軍国主義の美徳ではないかと批判が懸念している。ヤマトタケルノミコトの神話まで登場し、民族主義の毒が一層、濃くなった。